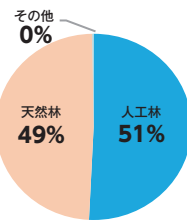


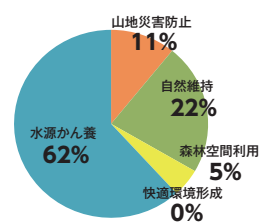
奈良県

管理面積	国有林野	11,721ha (県内森林面積 284千haの約4%)
	官行造林	264ha
	計	11,985ha

人天別面積



機能類型タイプ別面積



① 「大和三山風景林」香久山、耳成山、畝傍山国有林



大和三山は、天照大神の岩戸隠れの伝承地とされる香久山（香具山）、橿原神宮に隣接する畝傍山、円錐形の整った姿を持つ耳成山の総称です。

万葉の詩歌にも多く詠まれた飛鳥地方を代表する山で、国の名勝であるとともに、橿原市中心部から近く初心者でも無理なく登れることから、市民の憩いの場としても親しまれています。

② 「高取山風景林」高取山国有林



高取山国有林には、日本三大山城の一つとされ、国の史跡に指定されている高取城跡があり、本丸、二の丸、大手門周辺と吉野口門から芋ヶ峠に向かう尾根が国有林です。

高取山風景林は、司馬遼太郎が「街道をゆく」の中で城跡を「自然林に化した森の中に苔むしつつ遺っているさま」と表現した樹齢100年を超える広葉樹やスギがそびえ、四季折々に異なる表情を見せてくれます。

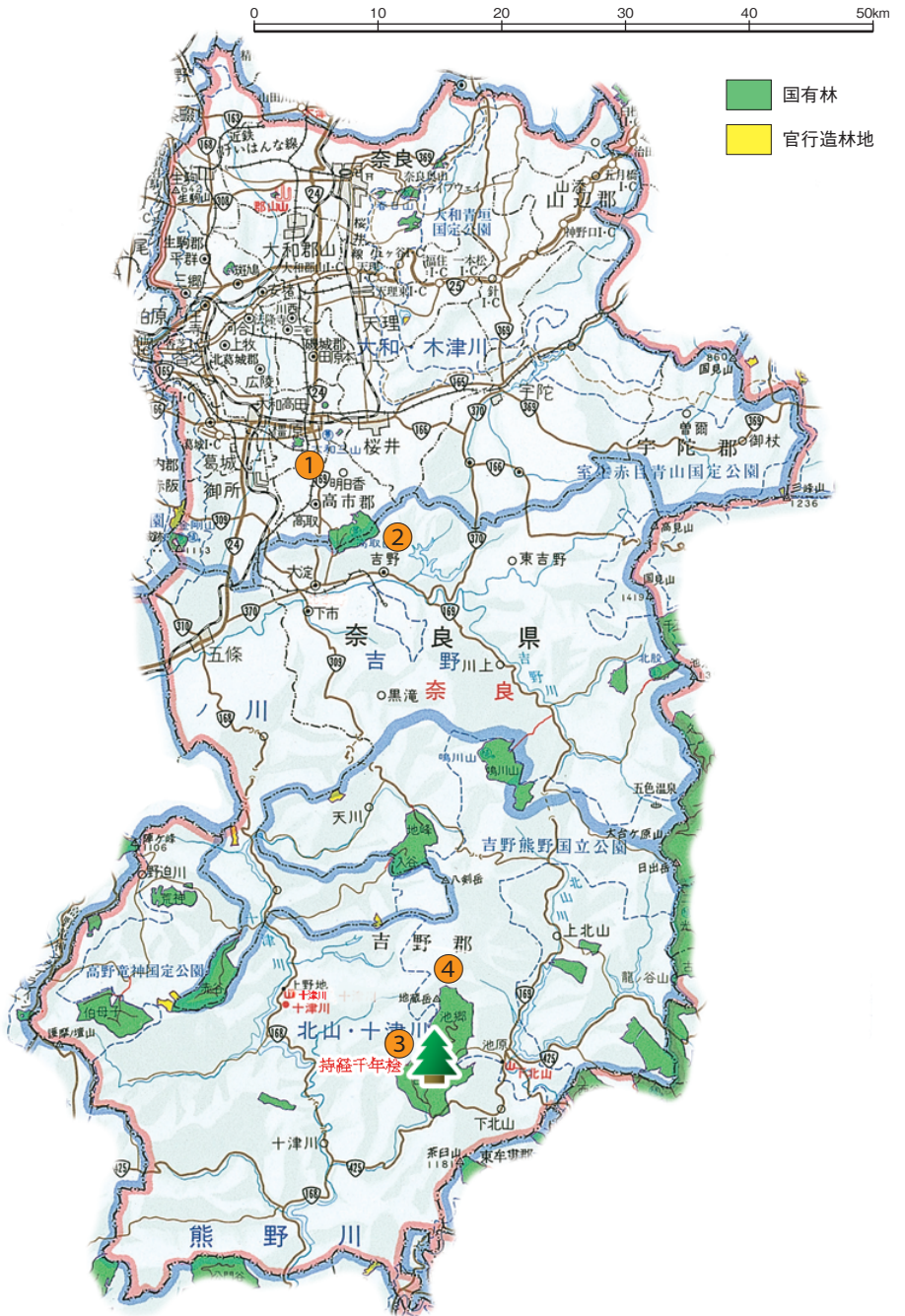
③ 国有林内の巨樹・巨木

しらたにやま
白谷山国有林



じきょうせんねんひのき
通称／持経千年松
種類／ヒノキ
樹高／25m
幹周／530cm
樹齢／200～299年
(推定)

昔、山下の吉野山蔵王堂から七十五箇の霊場を経て、修験者たちは難行しながら山上の蔵王権現に祈願し、さらに奥駈けといっここから熊野まで修行を続け、何日もかけて修験の山路を辿ったそうです。その一つである持経宿は大峰七五箇の第22番の行場で、役行者所持の孔雀明王経をおさめたと伝えられており、この持経千年松は持経宿の神木として保護されています。



④ 紀伊山地の霊場と参詣道(大峰奥駈道)

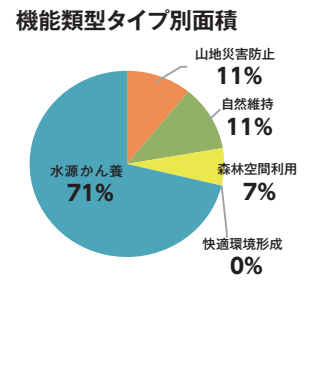
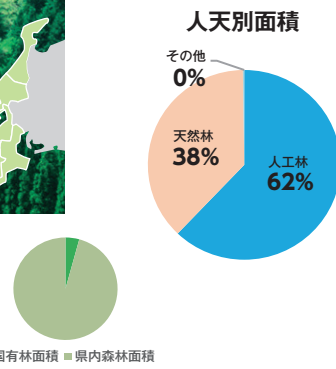
熊野と吉野を結ぶ1,800m級の荒々しい峰々が連なる大峰山系を約80kmにわたって乗り越えて行くもので、古くから修験道の核心をなす根本道場として位置づけられ、さまざまな苦行の末に味わえる神秘的な大自然の魅力をうかがい知ることができます。

この奥駈道は奈良県側の南端に至る手前約4.2kmに渡って国有林内を通り、壮大な樹林帯とともに、持経の宿や平治の宿など、疲れた体を癒すところにもなっています。





管理面積	国有林野	16,097ha (県内森林面積 361千haの約4%)
	官行造林	1,265ha
	計	17,362ha



熊野古道

熊野古道は、熊野三山へと通じる参詣道の総称であり、熊野参詣道ともよばれます。紀伊半島に位置し、道は三重県、奈良県、和歌山県、大阪府に跨り、2004年に世界文化遺産に登録されました。

古代から中世にかけ、本宮・新宮・那智の熊野三山の信仰が高まり、上皇・女院や庶民にいたるまで、旅人の切れ目がなく行列ができた様子から「蟻の熊野詣」と例えられるほど多くの人が熊野に参詣しました。

① 那智の滝と那智山国有林



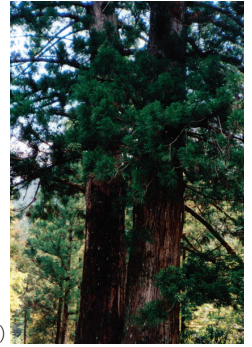
② 熊野古道「高野坂」御手洗国有林



③ 国有林内の巨樹・巨木

おおとうさん
大塔山国有林

こうぼうぎ
通称/弘法杉
種類/スギ
樹高/43m
幹周/630cm
樹齢/500年(推定)



その昔、弘法大師が熊野詣での道中、大塔山の麓のこの場所で昼食を食べた時、杉の枝を折って箸の代用として使い、食事後その枝を土へ突き立てたものが成長して、現在の二本の杉の大木となったと伝えられています。

④ 雲海 白見国有林



雲海は、山間部などで放射冷却により霧、層雲が広域に発生し雲の海に山々が島のように浮かんでいるように見える自然現象です。

⑤ 「高野山コウヤマキ希少個体群保護林」 高野山国有林



大正7年に学術参考保護林として設定された当該保護林は、コウヤマキの最も多い天然林で、高野六木を主体とした高野山の天然林を代表する林相を呈しています。

コウヤマキは、1科1属1種の日本固有の常緑針葉高木で、高野町の町木に指定され、高野六木(ヒノキ、ツガ、モミ、アカマツ、スギ、コウヤマキ)の一つとなっています。



■ 国有林
■ 官行造林地



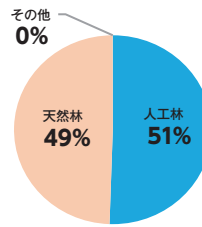


管理面積	国有林野	29,947ha (県内森林面積 259千haの約12%)
	官行造林	1,572ha
	計	31,519ha

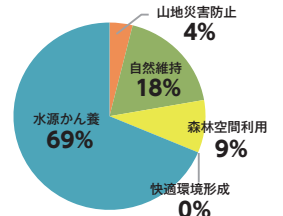


■ 国有林面積 ■ 県内森林面積

人天別面積



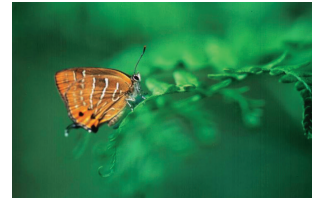
機能類型タイプ別面積



① 「大山森林生態系保護地域」^{だいせん}大山国有林



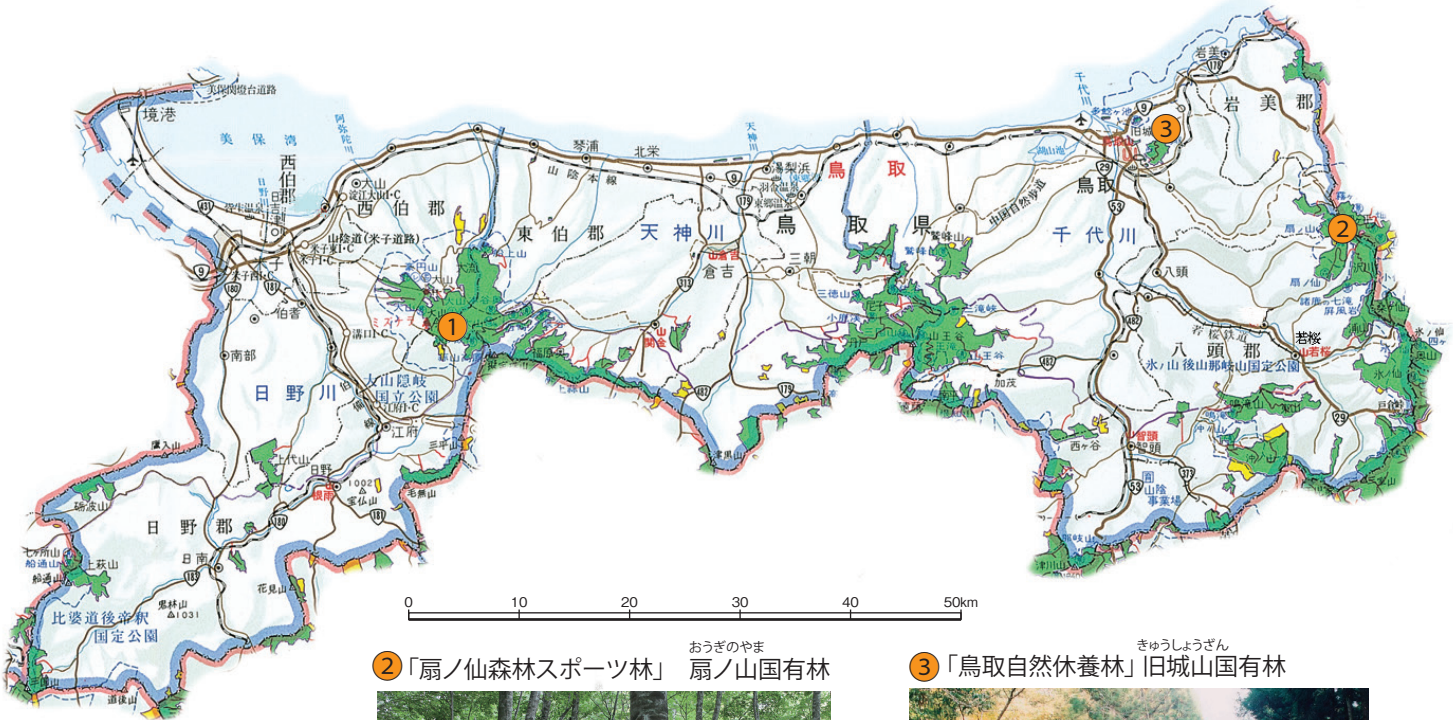
ダイセンキャラボク



ダイセンシジミ

山腹地帯の原生的なブナの天然林から亜高山帯に属する山頂のダイセンキャラボクの純林までの垂直的な植物群落の推移が見られます。

また、鳥類の宝庫とも言われ、昆虫類では固有種、大陸系、北方系、南方系の種が分布しており、種の多様に富んだ豊かな生物相を示しています。



■ 国有林
■ 官行造林地

② 「扇ノ仙森林スポーツ林」^{おうぎのやま}扇ノ山国有林



扇ノ仙森林スポーツ林は、兵庫県との県境、東中国山地緑の回廊の中にあり、「日本美しの森お薦め国有林」にも選定されています。

一帯はブナの天然林で覆われ、バンガローなどの宿泊施設もあり、森林浴やツリークライミングなどを楽しむことができます。また、鳥取県でも有数の野鳥観察ポイントでもあり、様々な野鳥を観察することができます。

③ 「鳥取自然休養林」^{きゅうしゅうざん}旧城山国有林



鳥取市街地の東側にあたる小山で鳥取市の背景林として市民から親しまれています。山頂には豊臣秀吉が鳥取城を攻めた時の本陣跡、また、周辺には鳥取城跡、仁風閣、鳥取市歴史博物館（ヤマビコ館）、櫻谿神社、興禅寺などの神社仏閣があり、山頂からの眺めも良好です。

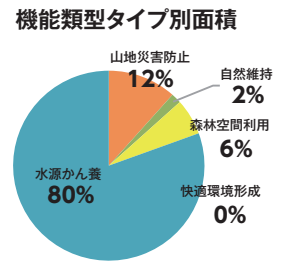
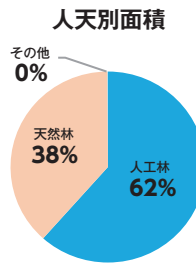


島根県

管理面積	国有林野	29,004ha (県内森林面積 525千haの約6%)
	官行造林	3,940ha
	計	32,944ha



■ 国有林面積 ■ 県内森林面積



① 「森林共同施業団地での取組」八川国有林



「八川地域森林共同施業団地」外13箇所を県内に設定し、相互利用できる路網整備等に向けて取り組んでいます。



■ 国有林
■ 官行造林地

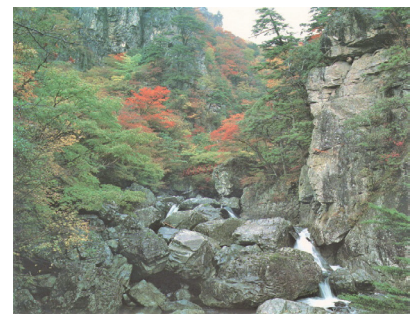
0 10 20 30 40 50km

② 「島根県立農林大学校との協力」佐比売国有林



「島根県立農林大学校と島根森林管理署との連携と協力に関する協定」を締結し、人材育成や研究等の実習のためのフィールドを提供しています。

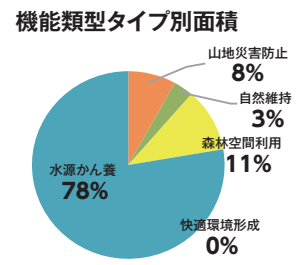
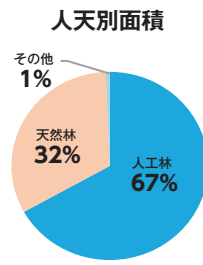
③ 「匹見峡風景林」 広見・三ノ滝国有林



中国脊梁山地の北側を深く刻み込んだ渓谷で、広葉樹林と滝や断崖が調和した美しい景観を形成しています。



管理面積	国有林野	32,214ha (県内森林面積 486千haの約7%)
	官行造林	3,740ha
	計	35,954ha



① 「天王山ヒメボタル希少個体群保護林」
てんのうやま
天王山国有林



国有林周辺に生息するヒメボタル（金ボタル）は、体長6mm前後の陸棲のヒメボタルのさらに小型の部類に属するもので岡山県天然記念物に指定されており、地域特定固有種として、生息地の保護を図っています。



自然環境等に配慮し、伐区を分散させた主伐



集造材の状況

岡山県は西日本でも有数の木材産地であり、特に県北地域は木材集積、製材工場が立地しています。中でもヒノキは素材生産量が平成24年から5年連続日本一になるなど、全国的にも知られている国産材産地です。

岡山森林管理署管内の国有林の多くが県北に分布しており、主伐や間伐等を計画的に進め、地球温暖化防止への貢献はもとより、地域の森林・林業の活性化に繋がるよう取組を進めています。

② 「操山自然休養林」操山国有林

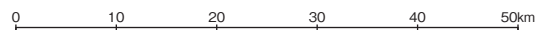


カナメモチのトンネル



後楽園の背景にある操山

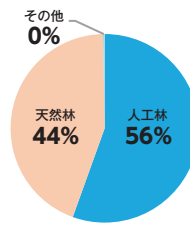
岡山市街地の東に接する丘陵状の山地で、クス、ヤマモモの純林、カナメモチのトンネルが有名です。日本三名園のひとつ「後楽園」は、この操山を借景としています。また、林内は数多くの古墳群が点在しており、年間5万人の市民がハイキング等に利用しています。



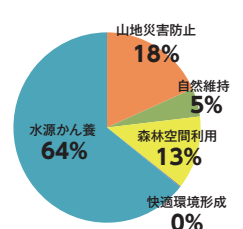


管理面積	国有林野	44,750ha	(県内森林面積 610千haの約8%)
	官行造林	2,959ha	
	計	47,709ha	

人天別面積



機能類型タイプ別面積



「檜皮採取の様子」



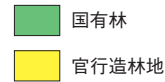
世界文化遺産である厳島神社が所在する宮島の宮島国有林は、全域を「世界文化遺産貢献の森」に設定しています。

このうち、80年以上のヒノキ人工林の中から「檜皮の森林ゾーン」を設定し、歴史的木造文化財修復用資材として檜皮を供給しています。

①「宮島風景林」 宮島国有林



宮島の厳島神社とその御神体である弥山が一体となった景観は、世界にも例を見ない独自の景観を作り出しています。



②「釜ヶ峰アベマキ・アカマツ

遺伝資源希少個体群保護林
かまがみねやま
釜ヶ峰山国有林



アベマキ、アカマツの希少な天然分布地を保護するために設定しています。

アベマキは、ブナ科の落葉性の高木で、樹皮に厚いコルク層があり、昔はコルクガシの代わりにアベマキの樹皮でコルクを作っていたこと

③ 国有林内の巨樹・巨木

えげたにやま
恵下谷山国有林

しほんすぎ
通称／四本杉
種類／スギ
樹高／30m
幹周／990cm
樹齢／190年(推定)

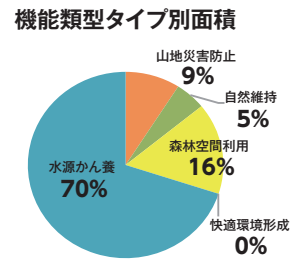
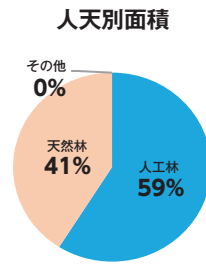


地上約3メートル付近から4本に株立ちしており、「四本杉」の愛称で地元住民、登山愛好家に親しまれています。

巨樹が生育する場所は、天スギ、モミ、ツガ等の天然分布地であり、「恵下谷山林木遺伝資源保存林」に指定して保護しています。巨樹に至る歩道脇には「恵下谷山コウヤマキ植物群落保護林」も見られます。



管理面積	国有林野	8,022ha (県内森林面積 437千haの約2%)
	官行造林	3,796ha
	計	11,818ha



① 「滑山アカマツ・ブナ・コナラ等 滑山国有林」



滑山国有林においては、樹齢200年以上の良質なアカマツ「滑マツ」をはじめ、ブナ、コナラ、アカシデ、ミズナラを保存対象樹種とし、安定的かつ恒久的な遺伝資源の存続を図ることを目的に約64haを林木遺伝資源保存林に指定し保護を図っています。

② 国有林内の巨樹・巨木

滑山国有林



さんぼんすぎ
通称/三本杉
種類/スギ
樹高/46、30、45m
幹周/459、308、510cm
樹齢/300年(推定)

毛利時代、御立山(藩有林)として300年間厳重に管理されてきた今の滑山国有林において、その名のとおり、3本の杉が寄り添い合っている様を毛利元就の「三本の矢」の教えのごとく、先人が守り崇めたとの思いを馳せつつ、語り継ぐ人々によって毛利時代の貴重な宝樹として大切に保護されています。



③ 「笠戸・岩国自然休養林」城山国有林



都市近郊の森林を主とした公園で、国有林山頂に旧藩主の居城が再現されており、麓を流れる錦川の四季折々の美しさと日本三奇橋の一つ錦帯橋のおりなす調和がすばらしく、種々の文化遺産と旧藩有林として守られてきた照葉樹林は、樹種も豊かな森林公園機能となっています。

また、城山国有林は、日本一の木橋として有名な錦帯橋の借景となっています。